



道路空間の有効活用

市内の代表的な繁華街に位置する新地本通では、電線類を道路の下に埋設し、綺麗で歩きやすい道路として整備しています。

その際、地元と協力し、ユニークな試みをおこなっています。

さて、どの様な事を行っているのでしょうか？

- A 足湯を設置
- B カラオケできる場所を設置
- C 通常デッドスペースとなっている場所に文化銘板を設置
- D お酒を飲める場所を設置



答えは、C。

新地本通の整備にあわせ、北新地のまちづくりの一環として、地元組織が自主的に事業費を拠出し、文化銘板(北新地300年の歴史と文化を紹介したもの)を製作し、関西電力所有の電力機器の上に設置しており、道路空間が有効活用されています。

